

長根だより

令和3年3月15日

No. 11

長根小 学校通信

【校訓】

強く

明るく

よく励む

よい学校づくり=よいまちづくり

長根小学校長 弓削 善靖

SDGs (SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)には、17の目標が掲げられています。その11番目は「住み続けられるまちづくりを」という目標です。さらに細かく見ていくと、その3つ目に「2030年までに、すべての国々で、だれも排除しない持続可能な都市化を進め、参加型で差別のない持続可能な人間居住を計画・管理する能力を強化する」という項目があります。

自治協議会長さんとこの話を直接したことはありませんから、「違うよ」と言われてしまうかもしれませんが、長根連区自治協議会が進めておられる活動のすべては、ここにつながっていると私は思っています。少し例を挙げてみましょう。

☆ だれも排除しない持続可能な都市化

- ・ (自治会に入っていないなくても)だれも排除することのない防災の取り組み
- ・ 関係各種団体との連携による強固な横のつながり

☆ 参加型で差別のない持続可能な人間居住を計画・管理

- ・ 新たに始まる「ながら防犯」の取り組み
- ・ 見守り隊・地域力向上委員会を先頭とした、子どもたちを地域で育成する取り組み

ここに、長根小学校でのコミュニティ・スクール(CS)の取り組みを加えてみましょう。地域・保護者・学校が一体となって子どもの成長にかかわる当事者意識をもつCSの取り組みもまた、地域でのSDGsの取り組みを進める一翼を担っているからです。長根小学校でたくさんの大人たちに見守られて育った子どもたちは、やがて地域を支える存在となるでしょう。つまり、CSの取り組みは持続可能な人間居住を計画する活動であるといえます。長根連区の関係団体の取り組みは、まさにSDGsを先取りしたものであったのです。

「よい学校は、よいまちにある。よいまちにはよい学校がある」

すべての地域住民と教職員が、胸を張ってこう言えるよう来年度も学校づくりに励む所存です。2月3日に行われた学校運営協議会でお認めいただいた学校教育目標の実現に向けて、教職員一同頑張ります。今後も変わらぬご理解とご協力をいただけましたら幸いです。



今年も感謝の会を開くことができました

直接会えなくて残念でしたが・・・

昨年度の「感謝の会」は、学校が休校になる前の2月13日に行いました。それは、今となっては、学校が2か月にわたって休校になるとは思いもせずに過ごしていた貴重な時間となりました。

今年は、緊急事態宣言中ということもあり、各教室と体育館をZOOMで結んで実施しました。

各ボランティアの代表の方からお話をいただき、最後に子どもたちが準備した色紙や手紙を各クラスの代表が手渡しました。タブレットのカメラを見つめながらのごあいさつはせっかく来ていただいたみなさんには拍子抜けの部分もあったかもしれません。何卒お許しただければと思います。それでも渡した色紙をいとおしくご覧になる来賓の方々の様子がとても印象的でした。



2月18日に行われた感謝の会の様子

学校教育目標をお認めいただきました

2月3日に学校運営協議会を開き、今年度の取り組みの総括と来年度の学校教育目標を承認いただいたことは、先月の「長根だより」でもお伝えしましたが、今回はお認めいただいた学校教育目標について、来年度新たに加えられる点についてお伝えしたいと思います。

アンケートにおいて、子どもたちの自己肯定感が、教職員や保護者の方々に比べるとあまり高くはなかったことから、来年度は、子どもたちが自分のことを客観的に振り返ることができる能力（メタ認知能力）を高め、いくことを新たに掲げました。同時に子どもたちが学びの主体として、互いを高めあっている、協働的問題解決学習を取り入れたと考えています。

来年度も市内のコミュニティ・スクールの取り組みの先頭に立っていきたくと思っています。

令和3年度 瀬戸市立長根小学校 学校経営方針

具体的な取り組み

- ☆主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・子どもが学びの主体となる授業改善への取り組み
 - ・創造的思考力を発揮し、問題解決に向かう子どもの育成
 - ・ICT環境の整備と教科担任制(4～6年)による授業の質の向上と働き方改革の推進
- ☆自他肯定の姿勢の醸成
 - ・道徳・SSTで円滑なコミュニケーションをとる
 - ・方策を学ぶ機会をつくる
 - ・保護者の信頼を深める生徒指導専門家への対応
 - ・QUデータの学級経営・要支援児童への活用
- ☆さわやかなあいさつの励行
 - ・地域ぐるみでのさわやかなあいさつへの取り組み
 - ・ねこSAPO(地域学校協働本部)を中心としたCS活動の充実とPTA組織の改編
 - ・地域連携教職員を中心とした校内でのCSへの理解を深める活動

校訓

学校教育目標

- ☆子どもにとって自分に自信をもてる学校
- ☆保護者にとって子どもが毎日楽しく通う学校
- ☆地域にとって将来の長根地区を担う子どもが育つ学校
- ☆教職員にとって仕事にやりがいをもてる学校

重点事項

主体的・対話的で深い学びの実現
自他肯定の姿勢の醸成
さわやかなあいさつの励行
(地域協働活動・CSの発展)

現在の到達点

- ☆子ども
 - ・明るく素直
 - ・コミュニケーションに課題
- ☆地域・保護者
 - ・子どもを支援する強力な地域諸団体
 - ・水無瀬学区での小中高連携
- ☆教職員
 - ・資質向上への意欲が高い

地域学校連携協働モデル

9年間を見通した小中一貫教育

- ☆水無瀬中学校区のめざす子ども像
- ・みんなであいさつのできる元気な子
- ・なにかよくお互いに学び合い高めあう子
- ・せきにかん(責任感)と思いやりのある優しい子

